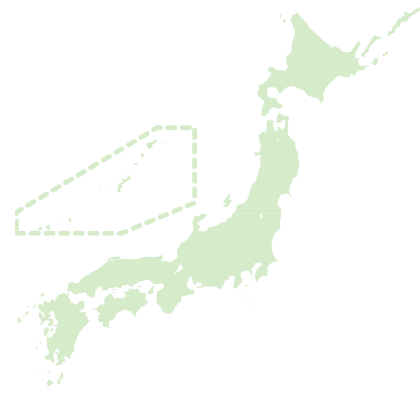


平成28年度

「言語聴覚の日」イベント報告



兵庫県

兵庫県言語聴覚士会は昨年度に引き続いて、神戸しあわせの村で開催された「第27回こうべ福祉・健康フェア」に参加し「言語聴覚の日」のイベントを行いました。コーナーは『簡易聴力検査』『成人の言語・嚥下、小児の言語・聞こえの相談コーナー』『口と声の衰えチェック!』です。“怪しそうな目でブース内を見つめる人”“「耳の検査してもらえんの?」と並ばれる人”など様々でしたが、120名を超える方々に立ち寄って頂きました。

昨年作成したオリジナルロゴ入りの黄色い法被を着て、幟も立てました。『黄色い法被と幟は言語聴覚士』と思われるぐらいに定着出来ればと思います。簡易聴力検査は人気でした。

待ち時間を利用して『口と声の衰えチェック!』コーナーへ誘導。発声持続時間やディアドコキネシスの測定と説明をしました。発声持続時間のほとんどが10秒以上で、中には20秒以上を超える方も…その方趣味は“カラオケ”“コーラス”でした。80歳を超えてもディアドコキネシスは30回を超える人が続出です。普段の臨床では無いぐらいに、トントントンと鉛筆はフル稼働状態でした。反応は十人十色で「恥ずかしいわ〜」「こんなん初めてやった」「来年もあんの?」など様々な言葉を頂きました。

中には『家族が難聴で、どのように接したらよいのか?』など専門的な助言が必要と思われるケースが数件ありました。次年度も盛り上がる企画を考えようと思います。

兵庫県言語聴覚士会 副会長
恩田 光平

